

2024年度

洗谷丸山農道修繕工事

福山市 水呑 町 地内

実施設計書

	当初設計	第1回変更
工 事 概 要	工事延長 L=4.0m	
	補強土壁工 A=23m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、洗谷丸山農道修繕工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第5章 その他

第1節 現場標示板等について

- 「第20 回世界パラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。
- ・使用するロゴは「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
 - ・「第20 回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。
(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.12.01(0) 9 公共(011015～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	04 道路改良工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 05 中山間地域 03 計上しない 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	道路改良工事					レベル1
	擁壁工	1	式			レベル2
	作業土工	1	式			レベル3
	床堀	1	式			レベル4
	床掘り 土砂 上記以外(小規模)		m3			00
	埋戻	5	m3			単第 0 -0001号表 レベル4
	機械併用埋戻(小規模土工)		m3			00
	補強土壁工	2	m3			単第 0 -0002号表 レベル3
		1	式			

本工事費

内訳表

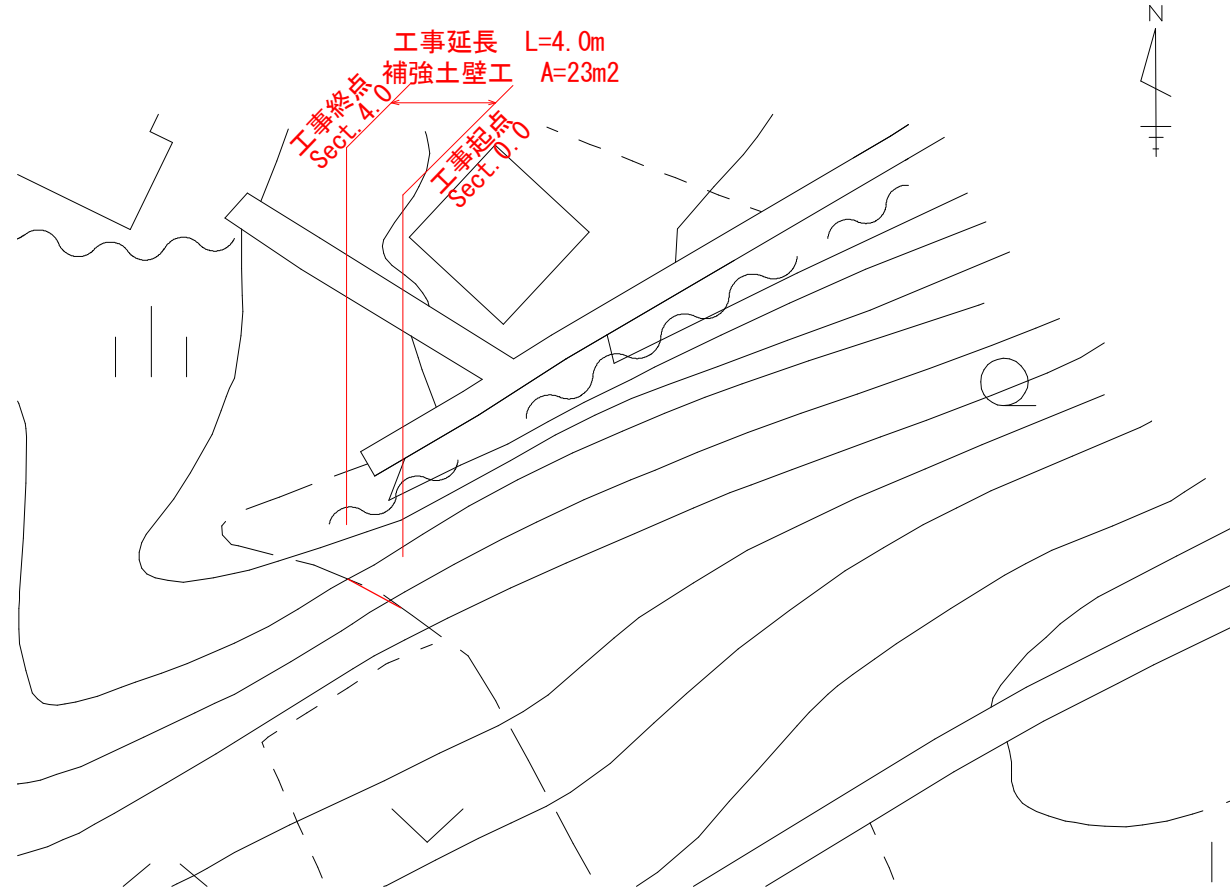
費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相当額計 **						
** 請負工事費計 **						

図面番号	2/3	縮尺	図示
工種	農道修繕工事		
種別	各種図面	番号	1/1
路線名	洗谷丸山農道		
工事箇所	福山市水呑町地内		
福山市			

設計年月 2024年12月
 図面サイズ A3

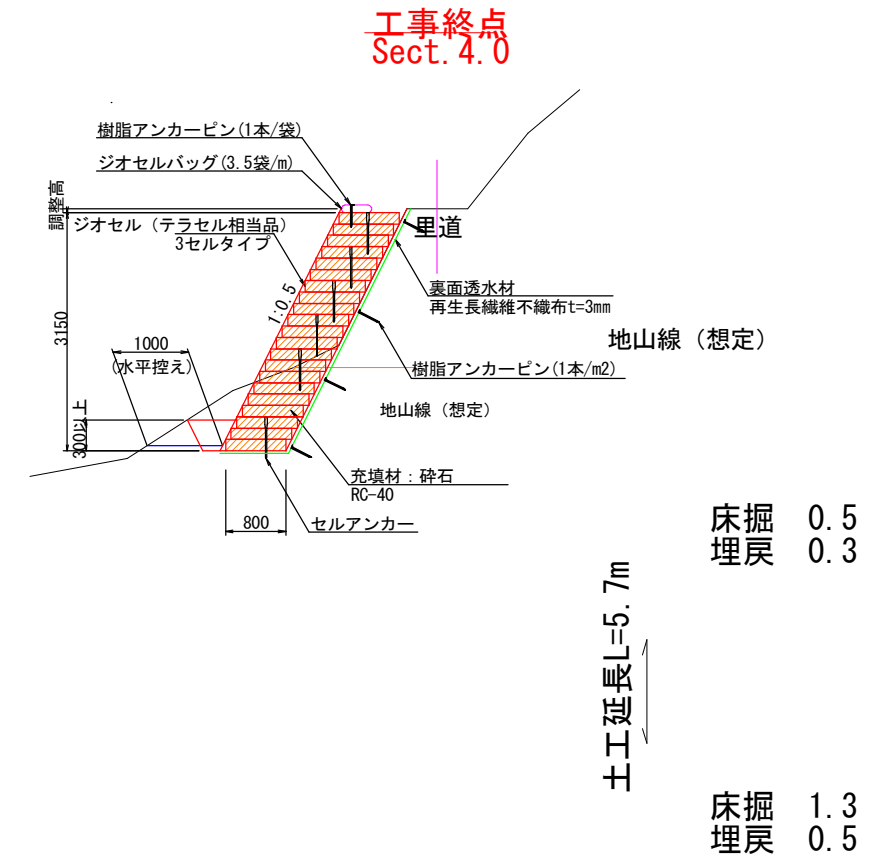
平面図

S=1:500



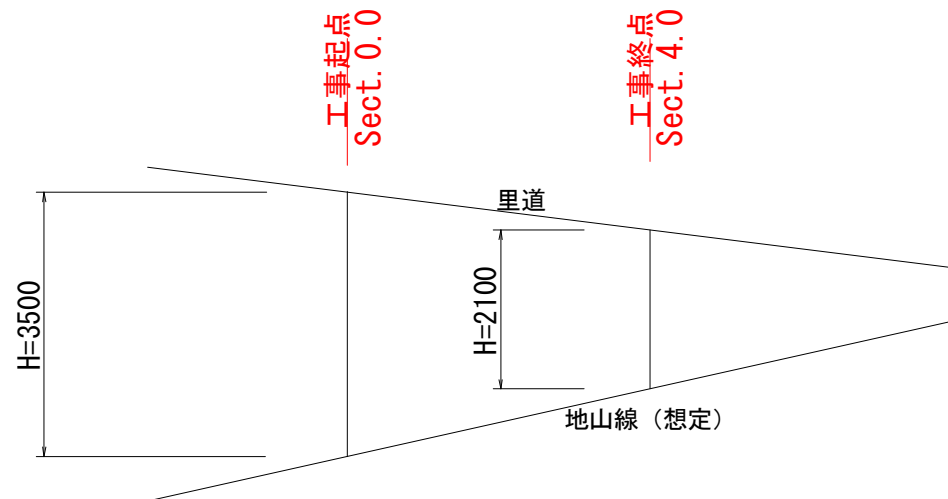
横断図

S=1:100

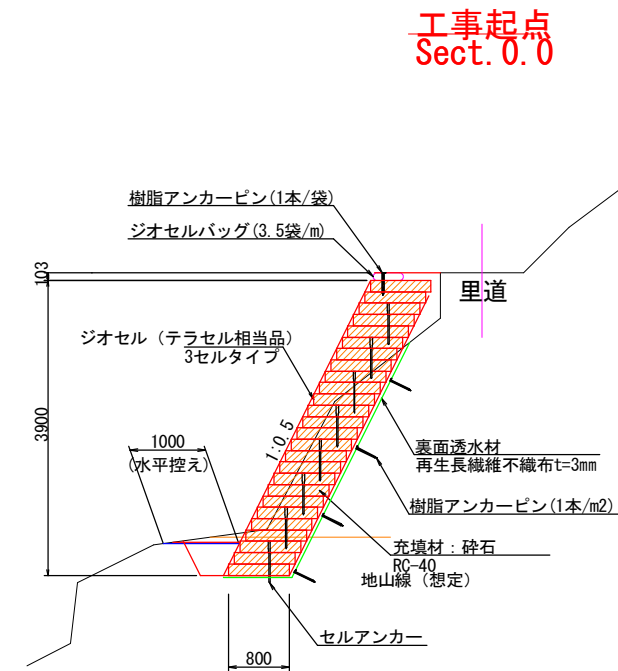


縦断図

S=1:100



横断図



参 考 图 书

施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,170.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

機械投入(バックホウ)

SPK24040007

単第 0 -0003号表

土砂

小規模(標準以外)

1

m3 当り

機械構成比: 20.80%

労務構成比:

71.28%

材料構成比:

7.92%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,768.5000

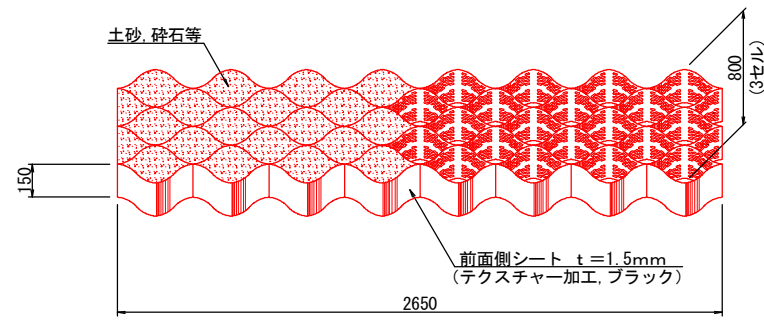
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

テラセル工数量計算

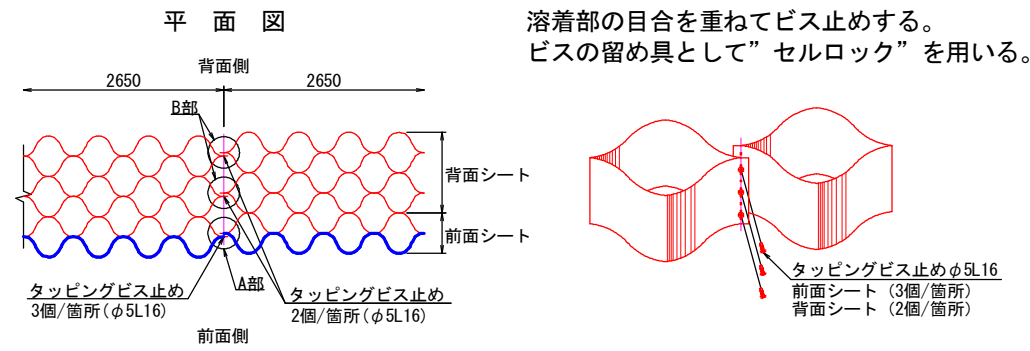
[3セルタイプ]												
○ 壁面工	$A = \frac{24.5}{\text{(鉛直投影面積)}} \times \frac{1.05}{\text{(ロス率5\%)}}$	=		25.7 m ²								
○ テラセル	$N = 25.7 / 0.4$	=		65 枚								
	注) 1枚当り 面積=0.3975m ² (≒0.4)											
セルロック	$N = 65 \times \frac{7}{\text{1枚当り}}$	=		455 個								
○ セルアンカー	$N = \frac{73}{\text{(展開計画本数)}}$	=		73 本								
○ 土のう	$N = \frac{4.0}{\text{(天端計画長)}} \times \frac{3.5}{\text{(袋/m当り)}}$	=		14 袋								
	◇ 樹脂アンカーピン(1本/袋) N= 14 本											
○ 樹脂アンカーピン	$N = $ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <thead> <tr> <th>細 別</th> <th>使用本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>裏面透水材</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>土のう</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	細 別	使用本数	裏面透水材	31	土のう	14	合 計	45	=		45 本
細 別	使用本数											
裏面透水材	31											
土のう	14											
合 計	45											
○ 裏面透水材	$A = \frac{20.8}{\text{(鉛直投影面積)}} \times \frac{1.118}{\text{(斜比)}}$	=	23.3	} 29.1 m ²								
	$A = \frac{7.3}{\text{(展開計画長)}} \times \frac{0.8}{\text{(底面部)}}$	=	5.8									
	$\Sigma A = (\frac{23.3}{\text{(斜面部)}} + \frac{5.8}{\text{(底面部)}}) \times \frac{1.05}{\text{(ロス率5\%)}}$	=		30.6 m ²								
	◇ 樹脂アンカーピン(1本/m ²) N= 31 本											
○ 砕石 [3セルタイプ]	$V = \frac{23.2}{\text{(鉛直投影面積)}} \times \frac{0.800}{\text{(セル控え長)}} \times \frac{1.1}{\text{(土量変化率10\%)}}$	=		20.4 m ³								

参考図 テラセル工詳細図

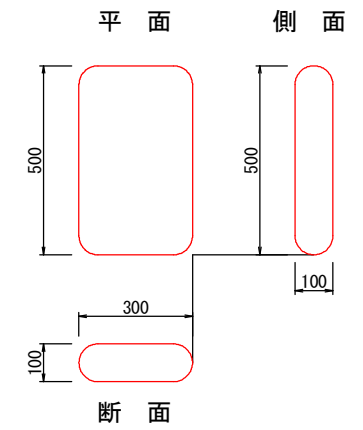
テラセル形状図



テラセル相互接合部詳細

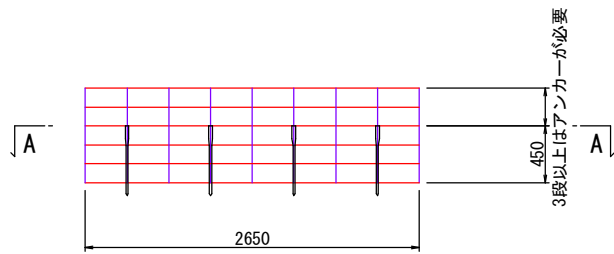


土のう (ジオセルバッグ) 仕上がり寸法

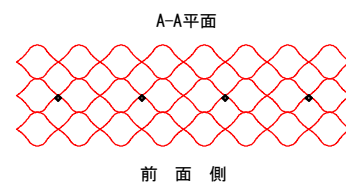


セルアンカー打設詳細図 S=1:30

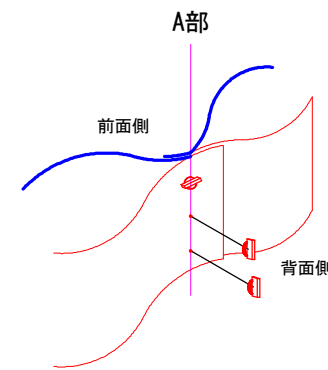
正面図



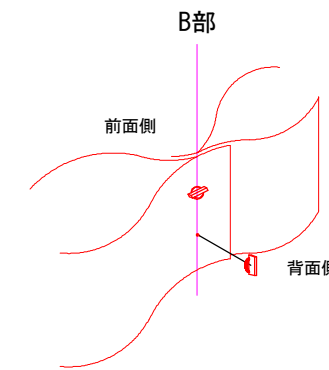
平面図



前面シートセルロック取付図

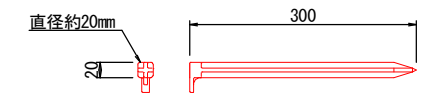


背面シートセルロック取付図



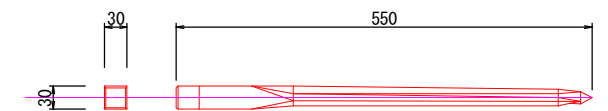
樹脂アンカーピン S=1:5

材質: ポリプロピレン (再生品)



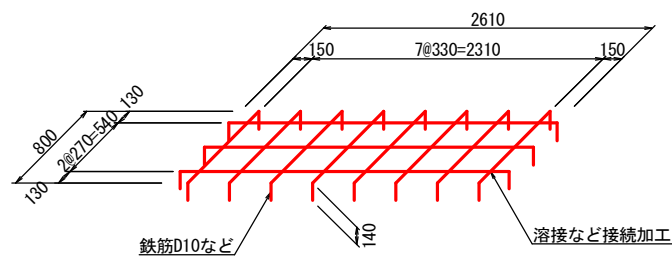
セルアンカー S=1:5

材質: ポリプロピレン (再生品)



テラセル展開補助枠 (参考) S=1:30

(D10鉄筋を使用した場合)



注意) 補助枠は、現地にて準備するものとする。

セルロック S=1:1

材質: 高密度ポリエチレン

